

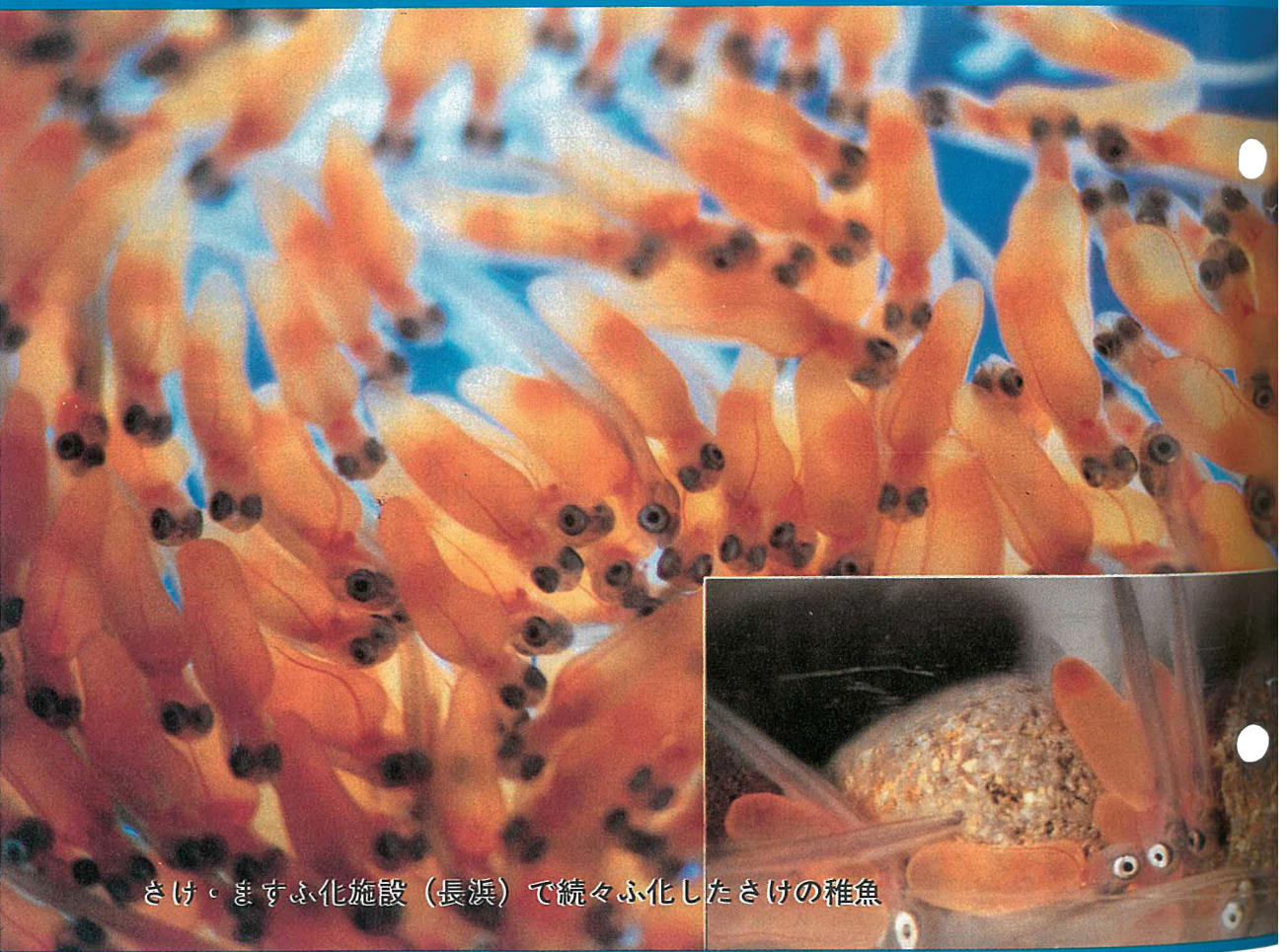


# ツツツ

# 2

月号

No.167



さけ・ますふ化施設（長浜）で続々ふ化したさけの稚魚

### 人口と世帯

世帯数	1,430	(+1)
人口	5,587人	(△1)
男	2,817人	(△3)
女	2,770人	(+2)

昭和59年12月末日現在  
(住民基本台帳登録人口)

### おまな内容

- 2……………利尻町新生活運動推進協議会スタート
- 3-5…議会だより
- 6-9…利尻町議会議員先進地行政視察報告
- 10-13…わが町の家計簿（58年度決算報告）
- 14……………43人が晴れて成人に
- 15……………税務だより
- 16……………病院だより
- 17……………利尻の博物誌
- 18……………シートベルト着用決議——町議会
- 19……………除雪作業に協力に
- 20……………戸籍のうごき

交通事故死ゼロ記録 2月1日現在1234日

# 利尻町新生活運動 推進協議会発足する

十二月十三日、自治会、関係機関、団体等の代表者による設立総会が町民センターに於て開催され全町民の運動として推進するために「利尻町新生活運動推進協議会」を設置することに決定された。

この運動を推進するための基本方針として

- 一 生活の見直しと改善運動の推進
- 二 明るい社会をつくる運動の推進
- 三 物を大切に作る運動の推進
- 四 環境を美しくする運動の推進
- 五 時間等を守る運動の推進

以上五項目の基本事項を定めましたが、又規約、役員構成を行ないました。具体的な運動の推進計画については、役員会において検討し、次の総会において意見をまとめて実施することになりました。本協議会の役員は、次のとおりです。

- 会長 宮田由太郎 (徳連合自治会長)  
副会長 寺嶋 賢次 (社会福祉協議会会長代行)  
茶谷 正義 (徳連合自治会長)  
理事 鎌田 勝男 (徳連合組合長)

理事 木村カヅエ (徳連合婦人部長)  
新浜 秀一 (徳連合青年部長)  
牧野吉太郎 (徳連合婦人部長)  
梅田 ツノ (徳連合婦人部長)  
牧野 幹男 (徳連合青年部長)  
惣万 惣子 (商工会長)  
柿元 令子 (商工会婦人部長)  
高松 勝美 (商工会青年部長)  
成田 和子 (徳連合婦人協議会長)  
砂田 京子 (徳連合婦人協議会長)  
志摩 進 (社会教育委員会委員長)

尚、本協議会に参与を置くことになっており、次の方を会長より参与に指名されました。

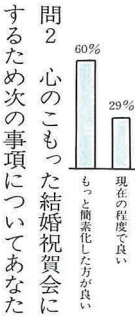
- 町長 小島光男  
議長 原崎竹治  
教育長 白幡昭三

## 生活改善に関する意識調査の結果について

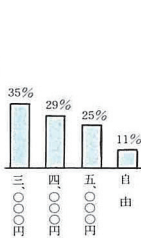
冠婚葬祭を始として華美になりがちな生活の現状を見直す運動を推進することになり、この度、推進運動の資料とするため、全世帯を対象に生活改善に関するアンケート調査を実施いたしました。その実施結果が次のようになります。

まいりましたので、町民の皆さんにお知らせ致します。

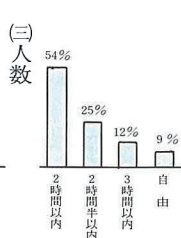
問1 最近結婚祝賀会が華美で年々派手になってきたといわれますが、あなたはどよう思っていますか。



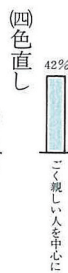
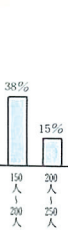
問2 心のこもった結婚祝賀会にするため次の事項についてあなたはどうのよにしたらよいと思えますか。



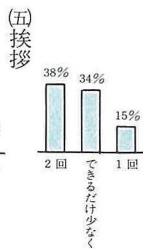
### (一) 会費



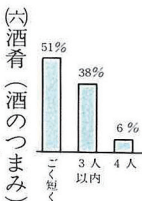
### (二) 時間



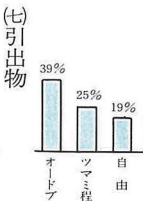
### (四) 色直し



### (五) 挨拶

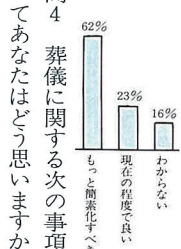


### (六) 酒肴 (酒のつまみ)

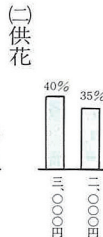
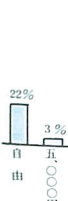


### (七) 引出物

問3 最近葬儀にお金をかけすぎるといった声を聞きますがあなたはどう思いますか。

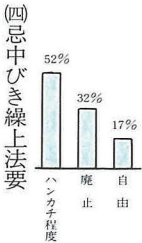


### (一) 香典

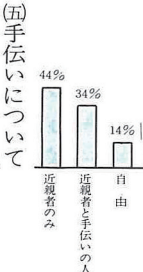


### (二) 供花

問4 葬儀に関する次の事項についてあなたはどよう思っていますか。

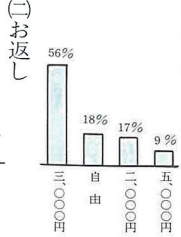


### (四) 忌中びき線 上法要

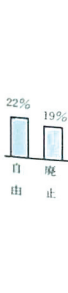


### (五) 手伝いについて

問5 お祝い、見舞、餞別についてあなたはどようのよにしたらよいと思えますか。



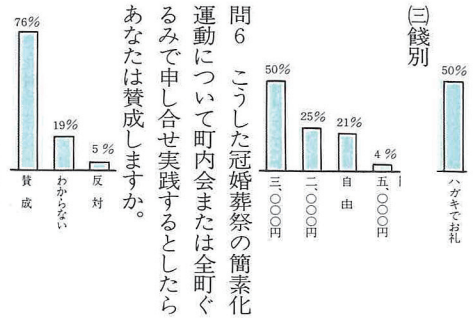
### (二) お返し



### (一) 新入学、見舞、出産

たばこ消費税は暮らしの中に生かされています

●たばこは地元で買しましょう。



問6 こうした冠婚葬祭の簡素化運動について町内会または全町ぐるみで申し合せ実践するとしたらあなたは賛成しますか。

第九回定例町議会

昭和五十九年度一般会計補正予算など原案どおり可決

昭和五十九年第九回利尻町議会定例会は、十二月十七日開会され十二月十八日閉会されました。諸般の報告、行政報告が行なわれたあと、引き続き一般会計補正予算など町長提出議案を審議し、いずれも原案どおり可決されました。議決された議案の内容は、次のとおりです。



- ◎昭和五十九年度利尻町一般会計補正予算(第五号)  
これは、これまでの予算額に、歳入歳出共に二億五千七百三十七万七千円を追加し、総額二十八億五千四百七十五万九千円としました。
- ◎昭和五十九年度利尻町国民宿舎特別会計補正予算(第一号)

この予算は、これまでの予算額に歳入歳出お共五百二十二万円を追加し、総額六千七百十二万としました。

◎昭和五十九年度利尻町国民宿舎特別会計補正予算(第二号)  
この予算は、これまでの予算額から歳入、歳出共に、六百三十万円を減額し、総額一億三千九百万円としました。

歳入の主なものは、営業収入及び一般会計繰入金金の減額です。歳出の主なものは、営業費用の減額です。

- ◎昭和五十九年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)  
この予算は、これまでの予算額に、歳入歳出共に二千八十六万四千円を追加し、総額二億五千五百八十六万四千円としました。
- ◎昭和五十九年度利尻町老人保険特別会計補正予算(第二号)  
この予算は、これまでの予算額に、歳入歳出共に、五百三十五万三千円を追加し、総額一億八千五百三十八万六千円としました。
- ◎昭和五十九年度利尻町国民健康保険施設事業会計補正予算(第一号)

この予算は、これまでの予算額に、収益的収入、支出共に七千八百二十二万円を追加し、総額四億一千九十六万九千円としました。

また、資本的収入の予定額に二百九十九万九千円を追加し総額三百六十六万五千円とし、資本的支出の予定額に五十五万円を追加し総額二千四百五十九万九千円としました。

収益的収入の主なものは、医薬収益です。

収益的支出は、医薬費用です。資本的収入は、出資金です。資本的支出は、建設改良費です。

◎昭和五十九年度利尻町砕石事業会計補正予算(第一号)  
これは、これまでの業務予定量に二万七千五百立方メートルを追加し、生産量を十二万五千立方メートルにするともに、収益的収入に一億四千二百二十八万とし、五億三千六百六十七万九千五百立方メートル追加し、総額四億八千五百八十六万三千円としました。

また、資本的支出に二百一十万円を追加し、総額八百五十一万としました。

収益的収入は、営業収益です。収益的支出は、特別損失です。資本的支出は、建設改良費です。

◎利尻町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案  
これは、人事院が国家公務員の給与改定について行った勧告に準じて、本町職員の給与条例を改正したものです。

◎退職料、退職給与金、遺族扶助料条例の臨時特例に関する条例案

この条例は、恩給法等の改正に伴い、現に受ける遺族扶助料の基礎となる仮定給料年額を現在の給与水準に改定したものです。

旧 棒	仮定給料年額
1,000円	4,800円、1,000円

◎利尻町重度心身障害者及び母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

この条例は、健康保険法の改正に伴い、社会保険本入も一部負担金が生じることとなったため、本人負担分についても、助成対象にしたものであります。

◎利尻町役場庁舎等建設促進委員会条例

この条例は、利尻町役場庁舎及び集会施設の建設を促進するため制定したものです。

◎特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

この条例は、特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に次のものを加えたものです。

利尻町役場庁舎等建設促進委員会委員長	月額10,000円
委員	月額10,000円

◎利尻町営住宅管理条例の一部を改正する条例

この条例は、別表に次の町営住宅月額家賃表を加えたものです。

区分	種別	設置数	月額家賃	設置場所
昭和59年度建設	3LDK種	4	三〇〇〇円	宮形字泉町

◎町道路線の認定について

これは、道路法に基づき、町道の路線として、次の路線を認定したものです。

一、認定番号 一七三
二、路線名 仙法志本町連絡道路
三、起 点 利尻町仙法志字本町五九番地の一
四、終 点 利尻町仙法志字本町七七番地の二七
五、延長 三三九・七〇m
六、備考

◎利尻町過疎地域振興計画の策定について

これは、過疎地域振興特別指置法の規定により、利尻町過疎地域振興計画(昭和六十年から六十四年まで)を策定したものです。

◎昭和五十八年度利尻町各会計歳入歳出決算の認定について

これは、地方自治法の規定により、議会の認定を求めたものです。

- 一、利尻町一般会計
- 一、利尻町簡易水道会計

一、利尻町国民宿舎特別会計

一、利尻町国民健康保険事業特別会計

一、利尻町老人保健特別会計

以上の会計が決算特別委員会に附託され、議員全員による決算審査特別委員会で審査の結果、これを認定すべきものと決定、本会議で委員長報告のとおり認定されました(内容別掲)。

◎選挙管理委員会委員並びに同補充員の選挙について

これは、任期満了による利尻町選挙管理委員会と同補充員の選挙を行い、次の方が選ばれ、承諾を得ました。

○選挙管理委員

中原日出城

杏形字本町

木村 正一

仙法志字本町

谷永 栄一

杏形字日出町

杉田 茂

仙法志字元村

○同補充員

伊藤 育雄

杏形字緑町

鈴木日出博

仙法志字政治

佐伯真知子

杏形字本町

高村 千ヤ

仙法志字政治

◎決議第一号

シートベルト着用推進に関する決議について  
原案可決

◎決議第二号  
国鉄地方交通線道北地区に関する決議について  
原案可決

国庫補助率引き下げによる地方負担軽減反対に関する意見書について  
原案可決

◎意見第五号

# 町政に対する一般質問

このたび開かれた第九回定例町議会において、次の一般質問がありました。その質問、答弁の要旨は次のとおりです。

質問

一、灯油備蓄タンクの役割りについて

先日ある会合で、当町連合自治会や漁組を代表するような立場にある二、三人の方々と同席する機会があり、その席で私が議員であるということ、次のような質問をされました。

「道の補助を受けて両町で建設した灯油備蓄タンク設置目的は(イ)灯油の安定供給、(ロ)離島価格の低減(稚内市の販売価格との差額縮小)の以上一点であった。しかし、建設当時と状況が違い、(イ)の灯油の安定供給は特に考える必要がなくなっているが、(ロ)

国庫補助率引き下げによる地方負担軽減反対に関する意見書について  
原案可決

私に、現在備蓄タンク設置の目的と島民の願いに背を向けて逆の動きをしていると考えるがどうか。」という質問です。

以上、ご賢察の上町長のお考えと今後の対策をお聞かせします。

答弁一町長

当初、備蓄タンクの建設にあたっては、灯油の確保が世界的にも不安定であり、また、特に離島という特殊事業からして島民の生活に大きな不安が付きまといある程

度の備蓄が必要であるということから、道も力を入れ二基の備蓄タンクが建設されました。

しかし実際は、今ご指摘のところに灯油は安定供給され、現在のところ心配はないと言われておりますが、備えあれば憂いなしでできちんとした大きいタンクを備えつけ心配ないようにしたことは、私はそれはそれでいっとうなるか分らない財政ですからよかつたと思っております。

ただ、価格については最初考えていたようなことにはならなかつたことは事実であります。一つは、タンカーで大量に運ぶため小口扱いにくらべると割安になるのではないかと思つていたものが、大量に備蓄されて心配はないけれど、品物が回転せず高いものを長く寝かせることになるという逆の現象がある訳です。それと統制品とは違い役所が価格を調整することができず、あくまでも民間サイドで取扱われていることから、非常に価格がつかみにくくなつていて、ということも原因の一つであります。それから何と言いましても陸地とは違い離島という特殊な所に更に運賃がかかるというのが根本的な原因ではなきかと考えます。これには航空運賃やプロパンのよう

補助の制度があればよいのですが業者まかせであるためどうしても運賃の値下げにはつながらないのが実情であります。

それにしても、島民の希望は何か安く購入できないかということとでありますので、今後東利尻町とも相談し、業者との会合もつて運営のしかた、あるいは管理のしかたに検討を加え値下げさせて貰うための努力を続けます。

## 質問

### 二、「小中高一貫の教育をどうすすめるべきか」の記事について

十二月五日、鴛泊中学校で行われた「小中高一貫の教育をどうすすめるべきか」を主題とした公開授業研究会が行われ、鴛泊地区管内の三小学校、鴛泊中学校、利尻高校の先生五十人が一堂に会して活発に悩みや意見の交換が行われ、現場の先生ならではの具体的で熱気溢れる有意義な会合であり今後の発展拡充を約してわかれたという。日利宗谷の十二月九日の記事を拝見、ついに利尻島教育界の夜明けが来たと、感動に胸が打ちふるい何回も読み返しました。何故ならば島の子供達を思う真心が感じられたからです。私は二十年前

上前から「自分の学校にこもるのではなく小学校、中学校、高校が連絡、連帯を強めもつと子供達に最適な教育を」と校長に、先生に、教育関係者にと訴えつづけて来ましたが、聞き捨てられたのか話題にもなりません。素人がなにを言っているかという考えがあったからでしょうか。

教育長、あなたにも「利尻島を学園の島に」、「幼児教育」について等質問をしております。

私は鴛泊中学校で行われた、壮挙が継続され発展し、利尻島全域に波及して利尻島が数少ない可愛いい子供達の最高の学び舎であり人間教育の最適地になることを願うものであるが、教育長はどのようにお考えですか、また、今後教育長の立場で当町教育現場に働きかける考えがあるやお伺いします。

### 答弁—教育長

この問題につきましては、私もあの記事を拝見しましたが、ご意見のとおりで同感でございます。非常にユニークな試みということで私も大変感心している訳であります。

実は私共の方でも、昭和五十九年度学校教育推進計画の策定の中で、これからの課題ということで小中高等学校の一環した生徒指導

を推進するための組織づくりが必要であるという提案がなされました。私はそれを受け、校長会議で

理解を得て、校長会の研究研修部がこの問題に取り組み、共通したテーマをどうしたらよいか、あるいは実施要領などをどのように進めたらよいか現在準備をしていた矢先でありました。そういう意味では先を越されたという感じをもっている訳でございます。

それで昨年の暮れには、沓形・仙法志の両地区に生徒指導三校連絡会というのをそれぞれ創りまして、その段階で小中学校の先生方が毎月会議をもつております。

その中では、例えば学力の低下をどう解決していくか、あるいは日常生活の中での学習態度、あるいは規律を守る指導などをどうしていったら良いか等が話し合われ、その都度問題点を父母の皆さんに連絡し、三校連絡会と父母とのかわりを非常に深めている訳でございます。

これを利尻町で一本化する方法、それから更にそうなった時点で高校にも入ってもらおうということを計画しております。来春早々にでも是非実現するようにもって行きたいと考えておりますのでその点御理解をいただきたい

と思います。

## 質問

### 三、天望山スキー場リフトの建設について

年次、整備が進められている運動公園を、各種施設が完成するにつれ、社会体育も町民参加のもと逐次増加の傾向にあり、多目的にわたって活況を呈し、体力、精神力と養成向上が図られせおりますことは、関係者のご努力によるものと考え、御同慶にたえません。

永年の念願であった中央病院も本年着工の運びとなり、また、役場庁舎の建設計画等、大事業の達成を目前にして財政的にも容易でない時期にあると思いますが、天望山スキー場にリフトを設置することは、町内はもとより、島内外からスキーヤーが集まり冬のスポーツの積極的交流が図られるばかりでなく、将来冬期観光の一助にもつながるものと思えます。

利尻町新総合振興計画の後期計画として位置づけられているリフト建設についてお考えをうけたまわりたい。

### 答弁—教育長

只今の天望山スキー場リフトの

# 利尻町議会議員 道外先進地行政視察報告

建設でございませうけれども、スキーリフトについては私共の方でも是非必要だというふうに痛切に感じております。そういうことで、スキーリフトを設置すべく部内で検討しております。設置する方法としては、一つはイスに腰かけて上まで上がるチェアリフトの方法と、もう一つはロープにつかまって上がる簡易リフトの方法との二通りがございます。チェアリフトについては枝幸あるいは中頓別で現在設置されておりますが、あまりにも高額なため私のほうでは簡易リフトを検討しております、これが約一千百万程度で設置できるというふうな具体的なことまでかなり煮つめて用意してございませう。

しかし残念ながら、このリフトについては現在のところまったく補助の制度がなく、町が単独で行なわなくてはならない訳です。そういうようなことで、今のところ財政的な事情から見送っているというのが現状でございます。しかしこれが好転する時点で是非設置するよう努力をしたいと思っておりますので、その節にはよろしくご協力をお願いしたいと思います。

## 一、視察地及び目的

(一) 指宿市へ観光客の受入体制  
及び観光施設の整備  
について

(二) 大阪市へ利尻こんぶの消流状  
況について

(三) 敦賀市へ日本原子力発電(株)敦  
賀発電所の運営状況  
について

## 二、視察日程

自 昭和五十九年十月十九日  
至 昭和五十九年十月二十五日  
八泊九日

## 三、視察参加者(八名)

議員 原崎竹治、牧野吉太郎、  
惣万惣市、高島光夫、越  
智力、浜岸正、西島松雄  
随行者 主事 小坂実

## 視察の概要

我々議会議員一行は、視察目的である指宿市の「観光客受入体制及び観光施設の整備について」大阪市では「利尻こんぶの消流状況について」、敦賀市の「日本原子力発電(株)敦賀発電所の運営状況について」の件を予定通り視察し、

その概要については次のとおりである。

## 一、指宿市の観光客受入体制及び観光施設の整備について

指宿市は九州薩摩半島の南端に位置し、総面積七八・二六km<sup>2</sup>、人口三万三千人、年間平均気温一八℃という常夏のまちで、海と山に囲まれた自然色豊かな所である。市内には五百haにわたって一日二万トンの温泉が湧出し、ことし海辺に寝そべりながら砂浴する天然砂むし温泉は世界にも類がなく、本観光の目玉となっている。指宿は九州最南端 南国ムード



あふれる自然ということ、自然景観を売りものに、国内外から年間約三百万人もの観光客が訪れる南薩ルートの拠点である。しかし沖繩が復帰して以来、南国の自然景観だけでは売っていきえず、年々その数が減少してきているのが現実である。

これらの情勢を踏まえ、市ではこれからの観光の位置づけとして「静と動の調和した観光」、いわゆる従来の自然景観という静的観光資源に、現在のニーズにマッチした経験する観光、スポーツ観光等、動的観光資源の導入をはかりながら、総合的な魅力ある観光地づくりを推進している。

まず、観光客の受入体制については、観光地のよし悪しは観光産業の第一線にあるホテル、旅館、タクシー、土産品店等の従業員の接客マナーによるところが大きいため、観光事業主及び幹部の研修会並びに従業員の接遇講習会などを開催している。また、特産品の開発はもちろん、各旅館、ホテルに郷土料理の研究というところで補助金を出し、その研究会を開催するなどして宿泊施設の個性化、特徴化を図るためのセールスポイントづくりに力を入れている。それから、動的観光資源の整備と

しては、「花と蝶いっばい運動」の推進ということで県道にハイビスカスや菜の花を約一億円を投じて移植しており、またツバクロ蝶という蝶々を海外から輸入し、それを育て増やす計画ももっている。菜の花の咲く二月には全国に呼びかけ、菜の花マラソンと称してのマラソン大会を開催し、菜の花の自然とスポーツとを結びつけた観光も行っている。この他に、若者の間で人気のあるウインドサーフィン全国大会の実施、ハンググライダー等積極的にスポーツ観光の定着化に努めている。

指宿市だけでなく宮崎市などもそうであるが、道路の緑々には四季とりどりの花や南国特有のソテツ、フェニックスの木が同じ間隔で切れ間なく移植され、また手いれもよくされており、市全体、県全体が自然公園という感じを受ける。気候の違いはあるものの、まさに北海道の観光とはスケールの違いもさることながら、常に先を考えた長期的な観光施策がなされており歴史の重みを感じさせる。

最近における観光の動向は指宿市にも見られるように、物見遊山的な慰安型観光から、自然や人文の中に何かを求め経験する体験型観光へと変わりつつあるのは確かである。

ある。

利尻島の観光はまだ歴史も浅く、現在のところ自然景観だけでなく、かなりの観光客が訪れているが、いずれば指宿市のように静と動が調和された、しかもアイデアや工夫を盛り込んだ観光体制が必要になってくるのは必至である。そのためには、二十年、三十年先の観光というものを今から考え、長期的な計画で、その対策に取り組む必要が、あるのではないかと考える。

二、利尻こんぶの消流状況について

我々は、今年の天然、養殖こんぶはどのように売りさばかれているのか、その状況等を把握するため、古くから利尻こんぶの取り引きがある大阪市内のこんぶ問屋松本商店を訪問した。

利尻こんぶは、関西、北九州あたりが販売の中心となっており、特にその中でも京都の消費が多く、天然の利尻こんぶは大変貴重がられ、料亭や高級料理店の間では、取り合いする程の売れ行きである。一方、養殖こんぶは年々生産量は増加してはいるものの、今年は品質の面でもう一つ良くなり、昨年と比べ若干販売難だということである。



ある。本来であれば今年の天然

こんぶは少なく、その分養殖こんぶの売れ行きが良くなって当然であるが、スソ物は人気も殺到し、売れ行きも上々だが上物の一等二等が売れ残っているという現状である。養殖こんぶについては、最近、道南、東北の一年ものの促成こんぶがかなり出回っており、品質、価格の面で競合物が多いということから、厳しい状態にあるのが現実である。販路については天然こんぶとは異なり、違った方面の小売業者等に多く卸されている。末端の小売業者の中には問屋側に対し生産者の名前を直接名指しした注文や、また逆に苦情の声も多く寄せられるそうである。それだけ同じ利尻こんぶでも、品質自体に大きなバラつきがあるという

ことになる。このことは、今後一層養殖こんぶの知名度を高め、定着させる意味においても、技術改良を重ね、この格差をなくすべく努力が必要であると考える。

問屋側の要望としては、ある程度厚みのある、色の濃い、最大限天然こんぶに近いものを望んでいる。また、天然とは違い計画的に安定した供給もでき、価格の面も安定することから今後、改善を加えた養殖利尻こんぶの定着化に期待を寄せているようだ。

このあと我々は松本商店の倉庫を拜見させていただいたが、すでに注文済みの結束された養殖こんぶが山積みになっており、その中には利尻こんぶも数多く見受けられ、遠く利尻を離れている我々にとって何やら懐かしいような喜ばしいような気がした。その結束されたこんぶの中で目をひいたのは、やはり道南、東北の促成こんぶである。これは実に利尻こんぶに比べ香りこそ劣ってはいるものの、見ただけでは区別のつかぬ程立派なこんぶに仕上がっており、これには我々も驚かされた。常務さんの話によるとこの道南の促成こんぶの売れ行きがよく、好評を得ているということであった。

我々は、東北、道南の促成こんぶが、かなり技術改善されていることを気にとめながら、こんぶ問屋松本商店の視察を終えた。

三、日本原子力発電(株)敦賀発電所の運営状況について

敦賀市は福井県のほぼ中央部に位置し、北は敦賀湾を擁して日本海に面し、東西南の三方は山に囲まれ、一部滋賀県に境を接している。敦賀湾は敦賀半島により日本の風浪を防ぎ、天然の良港を形成している。

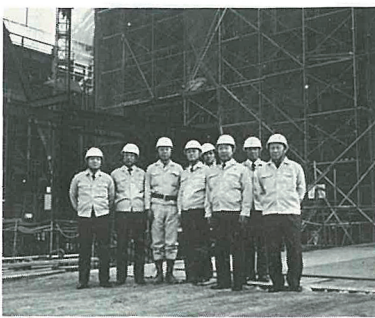
日本原子力発電(株)敦賀発電所は、その敦賀半島先端部の浦底湾のつけ根に位置し、約九万㎡の広大な山間地を切り拓いて建設された。一号機は昭和四十一年に着工し、四十五年から運転開始されており、現在二号機を建設中で総工費四千二百四億円を投じ、六十二年六月の完成予定である。

地元敦賀市にとって、この原子力発電所建設によつてのメリットは大変大きなものがある。当時敦賀半島の先端部は地理的に起伏が激しく、市でも道路を通すには、莫大な費用を要するため手をつけられず、浦底地区、色浜地区、手の浦地区などは陸の孤島と言われ住民の足はすべて船にたよらなければならぬものであった。しか

し、この建設によつて地区住民の永年の悲願であった国道が開通し、周辺は整備され、さらに多くの地元労働者を採用するなど、その恩恵は、はかり知れないものがある。

原子力発電所の設計、建設、運転にあたっては、何よりも安全の確保を最優先としている。設計にあたっては、運転中に各機械に加わる力や温度等に対して、機器が十分耐えられるような余裕のあるものとするともに、何らかの誤操作や誤動作が起こっても事故につながることをないようにインテークシステムの採用や装置の一部に故障が発生しても安全な方へ働くようにフェイルセイフシステムを採用している。しかも安全のための重要な装置は多重に、独立して設けてある。

原子力発電所管理区内から、運



転に伴って周辺の住民に与える放射線量は、原子力安全委員会が年間五ミリレムを超えないように定めている。人間が一年間に飲食物や宇宙から受けている自然放射線は、平均一〇〇ミリレムという。日本の基準はこの数にあたり、かなり厳しい目標線量となっている。そういうことから監視も厳重で、周辺環境に影響を与えていないことを確認するために、発電所周辺の放射線量や放射性物質の濃度を測定すると同時に、農作物、土、飲み水、魚、海藻、海水などにも含まれる放射性物質の濃度についても地方自治体と協力して定期的に測定を行っており、これらの測定データは福井県原子力環境安全管理協議会を通じて一般に公表されている。また、街のいたる所に、大気中の放射線量を示すデジタルの表示板を設置し、住民に常時判るようになっている。

プ装置で放射能を減衰させた後、放射能濃度が十分低いことを監視しながら大気中に放出する。また機器廃水は、電磁濾過器、イオン交換樹脂でろ過、脱塩を行い、発電所用水として再利用する。その他の雑用排水は濃縮し、アスファルトなどで固化し、ドラム缶詰めにする。紙や布などの雑固体廃棄物は、圧縮あるいは焼却などとしてドラム缶詰めしている。

そのドラム缶は、山間を切つて建設してある鉄筋コンクリート五階建ての固体廃棄物貯蔵庫に保管される。それがいっぱいになると建物に土をかけ、木や花を移植し、

山を元どおりに復元して自然の美化をそねないよう埋蔵する。

最近、全国的に放射線廃棄物処理施設誘致をめぐり、さまざまな論議を呼んでいるが、今後、利尻町としては、どのような影響があり、どう対処するのかわという問題がある。それにはまず、原子力というものを少しでも知り、また、現地住民のメリットはどうかなど、参考にすべく今回、敦賀原子力発電所を視察した。確かに原子力は恐しいものである。しかしまた、偉大な力のあるものでもあり、資源の乏しい我が国にあっては、石油代替エネルギーとして、やがて

利尻町の十倍以上の七二、六五㎡の面積を有し、天与の自然に恵まれた阿寒国立公園の脊が行政区域にあり、摩周湖、屈斜路湖、川湯温泉を背景として観光と農業を基幹産業として発展する人口一万二千二百六人の町である。

(口)水産庁さけ、ますふ化場、十勝支場釧路事業場について  
本場は、釧路川上流の原野に位置し、昭和二年民間によって創立され昭和九年国営移管となり、昭和十七年十勝支場所轄事業所となり、昭和二十七年機構改革に伴い、現在の名称に改まる。昭和五



建国記念日2月11日

十三年から五十四年にかけて施設を集約化するため、旧施設を解体し近代的なふ化施設が完成した。施設では、八千万粒のふ化を行い、三千万粒を稚魚として養い、五千万粒は他施設へ出す。用水源は湧水で水温6℃、加温の必要もなく二ヶ所の取水えん提を設け、ポンプアップして使用している。

我々が防問した時点での養魚、飼育魚はあまりなく、若干の受精作業が行われていたが、毎年安定したふ化事業を行っている。

本場では今年から、「さくらます」のふ化を試験事業として実施しているが、さけに比べ回帰が早いことから大きな期待をかけられていた。

二、標津町における「さけ、ますふ化事業」及び「公民館の運営状況」について  
(イ)標津町のプロフィール  
標津町は、根室支庁管内の東北部に位置し、東はオホツク海、その水平線上に北方領土国後島を望み、北は羅臼町、南は中標津町に隣接している。人口七千二百一十四人、面積六二一、四八㎡のこの町は、酪農を主体とした農業、さけ、ます、ホタテ、ホッキ等を主体とした水産業、あきあじそ上

### 利尻町議会議員 道内先進地行政視察報告

#### 一、視察地及び目的

○弟子屈町：「さけ、ます、ふ化事業について」  
○標茶町：「さけ、ます、ふ化事業」

#### 二、視察日程

昭和59年10月22日から  
昭和59年10月27日まで  
三、参加者(四名)  
議員………大腰金治郎  
町村 幸司  
岡山 勇

#### 随行者(議令事務局) 佐々木捷昭

視察の概要  
我々、道内先進地視察議員は、その目的である弟子屈町の「さけますふ化事業」、標津町の「さけますふ化事業」及び「公民館の運営状況」について予定どおり視察を終えました。その概要は次のとおりであります。

一、弟子屈町における「さけ、ますふ化事業」について  
(イ)弟子屈町のプロフィール  
弟子屈町は釧路支庁の北部に位



の薫別川、牧歌的田園風景を売り物にした観光産業によって発展している。

㊦さけ、ますふ化事業について

標津町は、さけのそ上河川を八本有し、その河川はいずれも魚族の再生産性が高く増殖の場として効果的に活用されており、さけ、ますの回遊、ふ化には好条件を有し、生産性は、全道でも有数な地域であり、今後さらに飛躍的に増大を図るための施策が進んでいる。以下説明を受けたことについて要約すると

◎さけ

体長55〜100cm。日本、朝鮮、沿海州、千島、カムチャカ、アラスカ、アメリカ西海岸北部などに分布する。

日本における河川そ上は太平洋側では、茨城県以北、日本海側では福井県以北の河川に例年見られる。日本の河川にそ上するのは、九月から翌年一月で、一般に「秋あじ」と言われている。

稚魚は三月〜五月に川に降り、北海道では三年から六年（主群は四年）で成熟し回帰する。

◎さくらます

体長40〜60cm。日本の太平洋側では神奈川県以北、日本海側では熊本県以北、朝鮮、樺太、沿海州

に分布し、ふ化河川で一冬越してから海に降り、更に一年も海で過ごし普通三月から七月に遡河、九月から十月に産卵する。

また、この種で生涯を河川、表水で生活するものを「ヤマベ」と称し「さくらます」の遡上する全河川に生息する。日本の北方域では雌はほとんど「さくらます」となり「ヤマベ」となるのは雄が多い。

◎からふとます

北太平洋全域、オホーツク海、ベーリング海、日本海に分布し、遡河産卵する。

遡河は六月から十月に見られ、満二年で雌雄とも成熟する。成魚の体側及び尾鰭には、はつきりした黒色斑紋が散在している。

◎回帰率

人工ふ化によるさけの回帰率は技術の向上を反映して高率なものとなり、北海道では2%以上となっている。或る年に回帰するのは二〜五年魚までの、生まれた年の異った魚群の混成群である。そのため稚魚放流数に対して、どの位回帰したかを知るためには、その年の来遊群が何年生のものかを調査し、各年級に分けて推定する。

さけ、ますふ化事業を始めたらず途中で休んだ場合宿命的に駄目になるので、継続することが必要である。

の所感  
○地場資源として採用するために、利札海域を南下する魚群をつくる必要がある。

○利札で採捕した親魚によって採捕した稚魚であればすぐ地場資源となるが、他所で採卵したものから始める場合には、いくらかの歩留りはあるが地場資源となるまでには早くて八〜十二年位必要である。

○数多く放流することだけでは駄目であり、健全な稚魚をつくり回帰率を高める必要がある。

○健全な稚魚をつくるためには餌代がかかる。標津町では九十日間、水産庁では七十日間飼育しているが、一億万粒の場合は九百万円必要である。

○遡上河川を有しない利尻では、刺網漁業の本許可を得て操業した方が望ましいと思う。

㊦公民館運営状況について

我々が視察した施設は、昭和四十二年に建設されたもので、役場庁舎と併設された、鉄筋コンクリート一部二階建、面積、二〇〇㎡のすばらしい建物であった。公民館として利用されているが、福祉センターも兼ねた多目的施設である。

標津町では、公民館として三館を有しているが、文部省の補助が低額であることから、文部省補助による正規の公民館として建設されたものは一館もなく、農林総合モデル事業、あるいは福祉事業団体等で建設された施設である。

来年度建設予定の集会所もまた、農林総合モデル事業として現有施設に併設されるということであり、鉄筋コンクリート二階建て面積一、一六八㎡、事業費二億五千万円で二年計画で完成の予定補助率はまで補助残は起債を仰ぐという。

標津町では、町民の各種会合が非常に盛んで必然的に、町もこうした施設に力を傾注しているようである。

三、総括的所感

まず、弟子屈町、標津町を訪問して、それぞれ庁舎の立派なものに驚かされる。町の象徴であるかの如くレンゲ造りの堂々たる庁舎でさらに内部の充実目を見はるものがある。贅沢ではないかと思われるほどの事務室のスペース、会議室等を有しており、うらやましい限りであった。

さけ、ますふ化事業については遡上する河川を有する視察地を有す水河川のない我が町との絶対的ハ

ンデイを感じる。特に標津町においては、その町内4km毎に遡上河川を有し、国のふ化場が四施設もあるという、この事業にかける意気を感じます。

有水河川を持たない我が町でのふ化事業は注目にあたいするものであり、我が町で飼育された稚魚が、りっぱに成長して回帰することを願い、将来においては固有資源として回帰するまでに、ふ化事業を進めていく必要性を痛感する。産卵のため遡上する雄大なさけの姿を見ることに期待していたが今年も低温であるため、あまり遡上しないということで、標津川でのさけの遡上の雄姿を見ることができなかったのは誠に残念であった。

又、我々は、視察の先さきで利尻の出身者に出会い近況を語り合った。道内各地（あるいは全国各地）に利尻の出身者が生活し活躍しているものであることを想い、懐かしさが一杯でお互いの健康と健闘を約した。利尻を故郷にする方々のますますのご活躍を心から祈念するのである。

我々一行が、今度の視察で知り得たことは、議員として今後町政に少しでも反映させていく考えである。

# 町の家計簿

## に使われたお金 26億5千7百2万円

### 町の台所

十二月の定例議会で昭和五十八年度の決算が認定されました。みなさんが納めた税金や国・道からの交付金や借入金などによって、いろいろな事業を行っていますが、「町税が一億三千万円ほどしかないのに、何十億円もの仕事ができる」という町の台所はどんな具合なのか」という疑問も聞かれます。

私たちの町の「台所」が一体どのような中身になっているか。をみなさんに図表であらましをお知らせします。

一人当りの町税負担額



24,351円

(57年度23,315円)

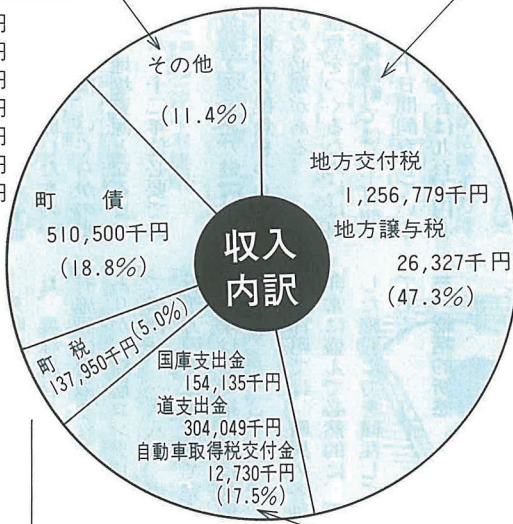
一世帯当りの町税負担額



95,666円

(57年度93,179円)

分担金及負担金 10,513千円  
 使用料及手数料 24,007千円  
 財産収入 14,608千円  
 寄附金 17,835千円  
 繰越金 120,214千円  
 繰入金 67,091千円  
 諸収入 55,279千円



▼繰入金  
 砕石事業会計からの繰入金です。

▼寄附金  
 一般寄附金及び指定寄附金(教育)です。

▼地方交付税は(町)が一定水準のしごとをしていくのに必要なお金を、自治体自身の収入だけでまかなわれない分を国が交付してくれるお金です。

▼地方譲与税は国税として国が徴収しその一部を町に配分してくれるもので、国税の地方道路税(揮発油に含まれる税金)と自動車重量税の一部が町道の延長および面積に按分して町に入るお金です。

町民税	82,815千円
固定資産税	27,708千円
軽自動車税	458千円
たばこ消費税	20,075千円
電気税	6,894千円

(町の「台所」収入で根幹になる町税は昭和58年度では総収入の5.0%となっております。)

▼国庫支出金及び道支出金は町の特別な事務事業の財源にあてるため交付されるお金です。

▼自動車取得税交付金は道路の自動車取得税の一部を町道の延長および面積に按分されて交付されるお金です。

# 昭和58年度 決算報告

収入 2,712,467千円

支出 2,657,020千円

一般会計

# わが

## 豊かな、明るい町づくり

▼下図の性質別の支出内訳は、右図の円グラフをさらに分析して、使われたお金はどのような性質に区分されるかを表したものです。

この中で、くらしの豊かな町づくりのため水産振興事業、産業基盤整備や道路などの生活環境づくりと人づくりのため各種教育施設整備などに使われた投資的なお金が全体の約三八・四%となっています。

一人当たりの支出額



### 468,847円

(57年度489,207円)

一世帯当たりの支出額

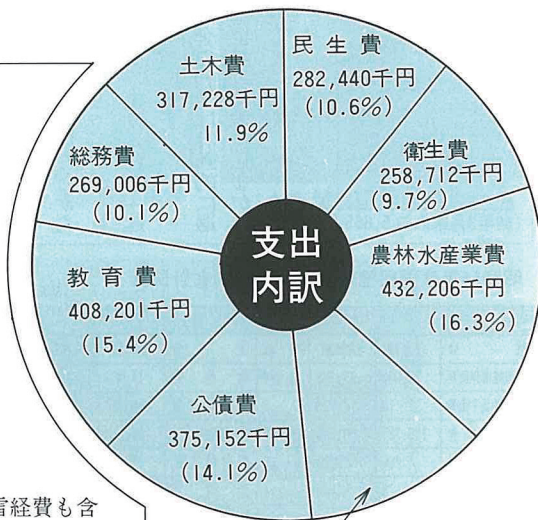


### 1,842千円

(57年度 1,955千円)


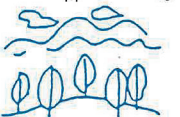

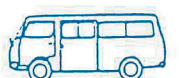

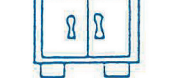
## <性質別の支出内訳>

投資及び出資金	(森林組合などへの出資金) 3,237千円 (0.1%)
貸付金	(商工業者、農業者などに対する貸付金) 22,000千円 (0.8%)
積立金その他	(病院建設基金積立金など) 83,614千円 (3.2%)
繰出金	(国民宿舎、国保事業への繰出金) 63,983千円 (2.4%)
維持補修費	(各施設や道路などの維持補修で除雪経費も含む) 48,013千円 (1.8%)
公債費	(町債の元利償還金や一時借入金の利子など) 375,152千円 (14.1%)
物件費	(賃金、旅費、一般消耗品の備品購入費、郵便料、電話代、光熱水費など) 212,343千円 (8.0%)
人件費	(議員の歳費、特別職や町職員の給料等、各種委員等報酬など) 403,323千円 (15.2%)
扶助費、補助費	(各種団体への補助金や交付金各種保険料、各種会費や謝礼など) 427,393千円 (16.1%)
普通建設事業費	(各種建設事業費や用地購入費など) 1,017,962千円 (38.3%)



議会費	45,373千円 (1.7%)
商工費	121,011千円 (4.6%)
消防費	145,691千円 (5.5%)
諸支出金	2,000千円 (0.1%)

### ■町有財産の状況

<p>土地が</p>  <p>2,504,609㎡</p>	<p>山林が</p>  <p>4,611,750㎡</p>	<p>建物が</p>  <p>34,758㎡</p>
<p>車両が</p>  <p>31台</p>	<p>証券その他の権利が</p>  <p>16,764千円</p>	<p>基金が</p>  <p>130,370千円</p>

町が保有している財産は、積立金(基金)のほかに、町有地や町有林、それに学校、役場庁舎、町民センター、研修センター、公民館などといった町有施設と福祉バスや乗用車などの車両があります。

これらの財産の内容は別表のとおりです。

このほか有価証券、出資金等についても別表のとおりです。

(この保有財産の数字は昭和五十九年三月三十一日現在のものです)

## 町が保有している財産は

### ■有価証券や出資金などの状況

<p>▼ 有価証券</p> <p>株 券 10,114千円</p>	<p>財団法人日本離島センター 1,899千円</p> <p>北海道市町村職員福祉協会 1,000千円</p> <p>北海道農業信用基金協会 300千円</p> <p>北海道国民健康保険団体連合会 266千円</p> <p>北海道農業開発協会 200千円</p> <p>北海道私学振興基金協会 75千円</p> <p>財団法人北海道学校保健会 110千円</p> <p>北海道勤労者信用基金協会 200千円</p>
<p>▼ 出資金</p> <p>北海道漁業信用基金協会 2,600千円</p>	

**△町債の状況**

町債は毎年計画的に返済  
現在高は二十五億円!

▼町債は、町が大きな事業をする場合に国や金融機関などから長期の借入金をもって財源としています。この借入れを「起債」とよんでいます。

その元金や利子は計画的に返して、健全財政を維持しながら借入れをしています。

未償還元金  
2,548,316,000円

町民1人当り  
449,835円

(59年3月末人口5,665人)

**特別会計の概要**

特定多数の受益者の人たちが利用し負担する国民健康保険事業や簡易水道、国民宿舎、老人保健の会計は、本町の一般会計とは別に特別会計で行われています。

これらの特別会計の昭和58年度の概要は別表のとおりです。

昭和58年度国民健康保険事業特別会計決算

(単位 千円)

歳 入			歳 出				
区 分	予算額	決算額	区 分	予算額	決算額	不用額	
国民健康保険税	75,000	78,388	3,388	総 務 費	14,087	13,684	403
使用料及手数料	10	13	3	保険給付費	152,272	151,898	374
国庫支出金	145,727	161,779	16,052	老人保健拠出金	64,714	64,712	2
道支出金	200	215	15	基金積立金	79	79	0
財産収入	78	82	4	公 債 費	116	0	116
繰入金	11,010	11,000	△ 10	諸 支 出 金	11,310	11,232	78
繰越金	11,265	11,265	0	予 備 費	922	0	922
諸 収 入	210	419	209				
計	243,500	263,161	19,661	計	243,500	241,605	1,895

(歳入歳出差引残額 21,556千円)

昭和58年度老人保健特別会計決算

(単位 千円)

歳 入			歳 出				
区 分	予算額	決算額	区 分	予算額	決算額	不用額	
支払基金交付金	116,024	116,053	29	総 務 費	728	327	401
国庫支出金	29,348	31,125	1,777	医療諸費	159,775	156,218	3,557
道支出金	7,289	7,739	450	諸 支 出 金	2,897	2,897	0
繰入金	7,838	7,838	0				
繰入金	2,896	2,896	0				
諸 収 入	5	0	△ 5				
計	163,400	165,651	2,251	計	163,400	159,442	3,958

(歳入歳出差引残額 6,209千円)

昭和58年度簡易水道特別会計決算

(単位 千円)

歳 入			歳 出				
区 分	予算額	決算額	区 分	予算額	決算額	不用額	
使用料及手数料	39,118	39,424	306	総 務 費	16,621	16,437	184
国庫支出金	22,538	22,537	0	施 設 費	85,467	85,281	186
繰入金	5,000	5,000	0	公 債 費	21,490	17,977	3,513
繰越金	3,675	3,675	0	予 備 費	76	0	76
諸 収 入	21,024	26,063	5,039				
町 債	32,300	32,200	△ 100				
計	123,654	128,899	5,245	計	123,654	119,695	3,959

(歳入歳出差引残額 9,204千円)

昭和58年度国民宿舎特別会計決算

(単位 千円)

歳 入			歳 出				
区 分	予算額	決算額	区 分	予算額	決算額	不用額	
国民宿舎事業収入	92,068	97,920	5,852	国民宿舎事業費用	113,138	113,022	116
繰入金	36,732	36,732	0	繰上売用金	15,634	15,634	0
				予 備 費	28	0	28
計	128,800	134,652	5,852	計	128,800	128,656	144

(歳入歳出差引不足額 5,996千円)

昭和58年度

主な事業費

(事業費200万円以上)

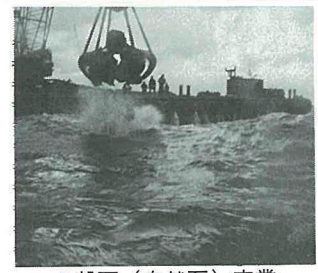
	千円
町長公住新築事業費	13,590
老人福祉センター新築工事費	115,667
老人福祉寮	34,350
町有林造林事業費	3,853
小規模治山事業費	5,880
経営林道新湊線開設工事	13,805
アワビ中間育成(促成栽培)施設整備事業	5,150
陸上レーダー(漁場管理用)整備事業	25,000
サケ、マスふ化事業用試験ボーリング事業	4,180
ウニ種苗中間育成施設建設事業	72,330
長浜第2船揚場新設事業	12,050
長浜地区船揚場整備事業	2,050
新湊第3船揚場新設事業	12,750
種富町第3船揚場新設事業	8,440
種富町地区船入間整備事業	6,280
神居第1船場整備事業	5,565
アワビ種苗購入事業	8,590
ウニ天然採苗施設事業	2,625
F R Pウニ、アワビ礁設置事業	4,000
セラミック昆布附着板事業	6,000
投石(自然石)事業 沓形漁協	14,211
〃 仙法志漁協	7,485
チエン振施設設置事業 沓形漁協	5,250
〃 仙法志漁協	1,875
磯焼地帯漁場造成実験事業	2,625
昆布養殖施設設置事業	5,625
フトン籠投石事業	8,226
方格礁設置事業	5,250
増養殖作業保管施設設置事業費	8,170
並型魚礁設置事業 沓形漁協	6,855
〃 仙法志漁協	6,847
タコ産卵礁設置事業	4,500
大規模漁場造成事業	9,359
小規模	3,985
見返台園地広場拡張工事	8,850
市街横間岬線道路舗装工事	11,200
沓形小学校道路舗装工事	5,400
本町山の上線道路舗装工事	3,000
神居第1地区	3,800
富野公営住宅側溝整備工事	5,230
神居第1地区側溝整備工事	3,000
新湊第4地区側溝新設工事	6,300
元村山の上線道路局部改良工事	17,100
防雪柵設置工事	7,980
防雪用ワンウェイブラウ購入事業	2,300
日の出線道路改良工事	60,750
新湊海岸線特殊改良第4種工事	15,600
市街西1条特殊改良2種工事	12,180
国直轄港湾整備事業	42,628
公営住宅新築工事1棟4戸2種簡易耐火構造	32,500
防災行政無線電話施設整備事業	2,999
教員住宅新築工事 新湊小学校	6,890
〃 仙法志	6,970
〃 沓形中学校	6,870
〃 仙法志	6,680
運動公園道路新設工事	45,330
運動公園駐車場	29,100
利尻町民水泳プール新設工事	86,900
グリーン広場新設工事	8,390



▲水泳プール



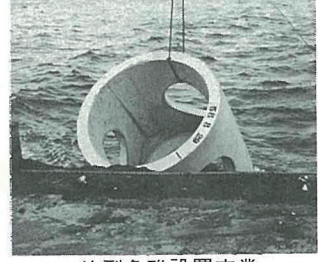
▲新湊第3地区船揚場整備事業



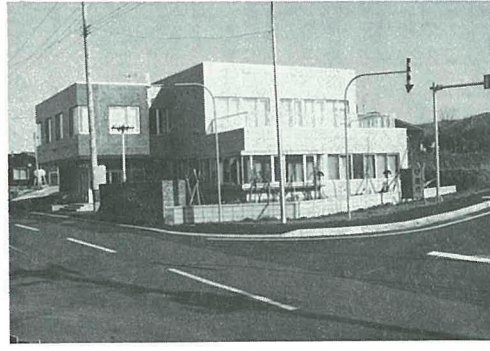
▲投石(自然石)事業



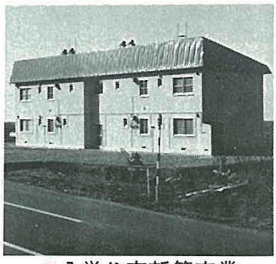
▲経営林道新湊線開設事業



▲並型魚礁設置事業



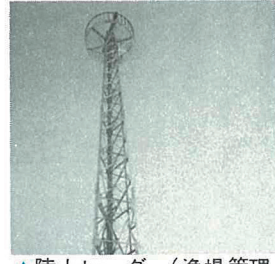
▲老人福祉センター新築事業



▲公営住宅新築事業



▲老人福祉寮新築事業



▲陸上レーダー(漁場管理用)整備事業



▲見返台園地広場拡張工事



# 昭和60年度町道民税申告受付日程表

## 仙法志地区

受付巡回月日	申告会場・時間	申告会場・時間
2月16日	御崎地区 9:30~12:00 御崎自治会館	
18日	元村地区 9:30~12:00 元村 "	政治地区 13:30~16:00 政治自治会館
19日	神磯地区 9:30~12:00 神磯 "	長浜地区 13:30~16:00 長浜 "
20日	久連地区 9:30~12:00 久連 "	仙法志本町1地区 13:30~16:00 公民館
21日	仙法志本町2地区 9:30~12:00 公民館	当日部落で申告できなかった方 13:30~16:00 公民館

## 沓形地区

受付巡回月日	申告会場・時間	申告会場・時間
2月22日	蘭泊地区 9:30~12:00 蘭泊自治会館	神居1地区 神居1自治会館 13:30~16:00
23(出)	神居2地区 9:30~12:00 神居2 "	
25	泉町1地区 9:30~12:00 泉町自治会館	泉町2地区 13:30~16:00 泉町自治会館
26	泉町3・4地区 9:30~12:00 泉町自治会館	富士見町港町地区(所得税申告相談) 13:30~16:00 商工会館
27	本町地区一円 営業者所得税申告相談 9:30~16:00 商工会館	
28	所得税還付申告相談 9:30~16:00 商工会館	
3月1日	緑町1地区 9:30~12:00 保健福祉館	緑町2地区 13:30~16:00 保健福祉館
2(出)	日出町1地区 9:30~12:00 保健福祉館	
4	日出町2地区 9:30~12:00 保健福祉館	種富町1地区 種富町1自治会館 13:30~16:00
5	種富町2地区 9:30~12:00 種富町自治会館	種富町3地区 13:30~16:00 種富町自治会館
6	新湊1地区 9:30~12:00 新湊自治会館	新湊2地区 13:30~16:00 新湊自治会館
7	新湊3地区 9:30~12:00 新湊自治会館	新湊4地区 13:30~16:00 新湊自治会館
8	栄浜地区 9:30~12:00 栄浜自治会館	当日部落で都合で申告できなかった方 13:30~16:00 保健福祉館
9(出)	当日部落で都合で申告できなかった方	(給与者医療費等還付申告) 保健福祉館
11	当日部落で都合で申告できなかった方	(給与者医療費等還付申告) 保健福祉館

# 町・道民税 の申告が 始まります

所得税法並びに地方税法の規定に基づき、毎年二月十六日から三月十五日までを法定申告期間として全国一斉に申告事務・納税相談が行われます。

当町においても、次の日程により各自治会、各納税貯蓄組合へ税務職員が参りまして、申告受付事務、納税相談を実施いたしますので当日は最寄りの会場へ必ずおいでの方、申告を済ませられますようお願いいたします。

この申告は、必ず期間内に申告をしなければならぬことになっており無申告や期間が遅れると特典控除が認められなくなり、罰則を受ける事になります。

ご主人が出稼に出て留守の方でも配偶者や責任者の方は是非おいで下さい。

どうしても申告の出来ない方は申告書を主人に送って書いてもらい期間内に役場税務係に提出願います。

◎本年度より全事業(営業・漁業等)とも収支計算(必要経費等)にて算定しますので、当日次の書類を必ず持参願います。尚申告書用紙は、当日会場で配付いたします。

◎漁業者の方へ販売物の精算書、油代や船外機、漁具類の買入修繕等の漁業に支出した全領収書

◎営庶業の方へ仕入書や経費の明細書等

◎事業(漁業・営業)から所得を生ずる資産の明細

・磯舟、船外機、倉庫等の取得年月、取得価格(間違いのないよう)

◎印鑑及び国民健康保険証

◎生命保険・火災保険の領収書又は証明書、医療費控除該当者はその診療等の領収書、雑損控除該当者はその明細書並びに見積金額等

◎出稼者等給与所得のある方は、会社からの源泉徴収票等が必要

申告書の提出期限は**3月15日**です

# 病院だより (6)

今回は、肝臓の『ガン』について特集します。肝ガンは、日本人に多発するガンの一つで、最近、とくに男性に増加が目立ってきております。昭和57年の肝ガンの死亡数は一六、五五五人で、ガン死亡総数一七〇、〇九七人の9.7%を示している。男では九九、一〇二人中一一、六九二人(11.8%)女では七〇、九九五人中四、六八三人(6.8%)となっている。ガンの発生部位では、男では胃ガン・肺ガンに次いで3位、女では胃ガン肺ガン子宮ガンについて、4位となっている。特に注目すべきは、男性で、肝ガンの増加率が大きく、肝ガンの早期発見がさげばれている。

地域的には、南西日本、とくに北九州に集中がみとめられ、世界的には、中国人、日本人、アフリカ、に高率である。

- ① B型肝炎ウイルス(および近縁)
  - ② アフラトキシンなどのカビ毒
  - ③ 飲 酒
  - ④ 喫 煙
  - ⑤ 食餌などからの化学物質
- などが考えられ、これらが単独にあるいは重なり合って作用し、肝

ガン発生の母地となっているものと考えられて居ります。

特にB型肝炎ウイルス保持者が、慢性肝炎、肝硬変になりやすく、又肝ガン発生の率が高いと考えられ、B型肝炎ウイルス対策が厚生省でもとりあげられ、ワクチンの研究がされ、実用化されるのも近いと言われております。

肝ガンの症状については、他ガンと同様で、初期には、ほとんど、症状がなく、進行してくると、食欲不振、全身けん怠感、不定の発熱、腹部膨満、右上腹部の鈍痛、不定の胃腸症状が多くみとめられます。

早期発見に関しては、腹部超音波検査が、注目され、当院にても毎月1回から2回、日曜日、又は平日の夕方から、腹部超音波検査が行なわれておりますので、保健婦さん、民生課に問い合わせ下さい。

その他、肝ガンの診断については、血液検査、血管造影等の検査もあります。

治療は先づ手術ですが、現在のところ、早期肝ガンが発見される患者が少なく、手術成績は、は

きりしていない状態です。その他には化学療法、血管栓塞術などが行なわれて居ります。

最後に腹部超音波検査について説明しますが、この検査は、全く苦痛がなく、気軽にでき、患者さんにとっては、大変楽な検査です。お腹を出して、ベットに横になり、機械でお腹をなでるだけですみます。この検査では肝臓、胆のう、腎臓、脾臓などの腹部実質臓器の診断が可能です。



## 一、入学、就職シーズンの郵便利用

二月は、入学や就職等に関する重要な郵便物、急ぎの郵便物を出しになる機会が多くなります。このような郵便物は、書留や速達

の制度をご利用されますと大変便利です。書留は、郵便物の引受から配達に至るまでの送達経路を記録して配達するとともに、万一の場合は賠償いたしますので、貴重な郵便物の送付に最適です。また速達は、普通郵便物に優先して配達しますので、お急ぎの郵便物の送付に便利です。

なお、現金を郵便で送るときは金額の多少にかかわらず、必ず現金書留としてお出しく下さい。現金封筒(二十円)は、郵便局や郵便手売りさばき所で発売しており、これには、通信文等を同封することもできます。

## 二、お祝いのメッセージに電子郵便のご利用

入試合格や就職等のお祝いのメッセージには、手書きのお祝いの言葉やイラストを、そっくり、そのままスピーディーに送れる電子郵便のご利用をおすすめします。郵便局には、手軽に書けるひな

型の用意してありますので、お気軽にご利用ください。

## 三、郵便小包は一〇キログラムまで送れるようになったことをご存じですか。

郵便局では、皆さまからお預りした郵便小包を、一層スピードアップ、サービスアップしてお届けしています。

その一環として、これまで六キログラムまでしか送れなかった郵便小包を、昨年十一月二十六日から一〇キログラムまで送れるように改善いたしました。一層の便利さを増した郵便小包を郵便窓口で気軽に申し付け下さいましてご利用ください。

なお、郵便局へお持ちできないときは電話でご連絡ください。集荷にお伺いします。

## 四、バレンタインデーは郵便で

二月十四日は、バレンタインデーです。この日は、女の子から男の子へチョココレートを贈り、愛の告白ができる日といわれています。直接手渡すのも平気な現代の風潮ですが、愛の手紙を添えて、郵便でチョココレートを贈ってみるのも又、風情があつて楽しいものです。一年に一回のチャンスです。工夫してより夢のある贈物にはいかかがでしょうか。

## 五、あなたの生活設計に簡易保険を

簡易保険は、簡易にご利用いただける生命保険として、みなさまの暮らしの安定や福祉の増進を目的として運営している国営の生命保険です。みなさまの生活設計のお役に立つようと、簡易保険では数多くの保険を用意しています。たとえば

- お子さまの学資金の準備に—学資保険
- お子さまの独立、結婚資金の準備に—成人保険
- 家族そろっての保障に—家族保険
- 万一の場合の保障を重点に—特別養老老普連終身個人定期保険



# りしりの博物誌 (十二)

## 殖民公報に紹介された

### 利尻の記事 ⑩

#### ○殖民公報第八十七号

(大正四年)

#### 利尻島の森林

(前月号から)

それならば如何なる樹種を以て造林したらよからうかと云うに現在に於て少しく試みられて居る造林樹種は「カラマツ」と「ポプラ」とである。しかし過去の成績は甚たよろしくない。「カラマツ」の如き野鼠の損害を受けて折角植樹したものが一本も残つて居ないと云う所もある。それ故此の如き危険の伴う樹種はなるべく避けたいのである。樹種を定めるには先づ天然に学ばねばならない。同島では「トドマツ」「エゾマツ」の針葉樹が共に良好なる生長をなして居るから此等の種類は造林樹種として選ぶべきものの一である。而して之を植むるには風を防ぐ方法を初に講しなければならぬ。即ち風に強き或樹種を帯状に植ゑて其後方に目的の木を植ゑる様に

するのである。利尻島に到る所柳かよく発生して居る。海岸の強い風の吹付る所でもよく成長して居るのを見る。「ヤマハンノキ」「カバ」なそもよく耐ゆる様である。か活著の容易なのは柳に限る。た之を挿木としても根を出して生育して行く。夫れ故柳を少くとも十間位の幅に風の方向に植栽し其後に「トドマツ」或は「エゾマツ」の天然苗かん工苗で比較的密植して林を造つたなら最も良からうと思はれる。薪炭を目的とする潤葉樹の造林をしやうとするなら之も同島に多くある。其氣候に適する樹種を採ふへきて「カバ」の類「イタヤ」等は確に良好である。此等を苗木にて造林する場合も自然に存する他の潤葉樹をなるべく残立せしむる様にするのか利益である。或人か火を防ぐと云ふ事か最有効な造林法であると云つて居るか利尻島では根田竹の強くない部分は山火を防ぐ装置をしたたけて稍々見るへき潤葉樹林を生し得ることは容易であらうと思はれる。

御大典の記念に造林をすることは最適当なことと考へらるるかえを

実行するに早く出来る樹種のみを選ふことなく永遠の計を定めてかかることか必要である。之は敢て利尻島のみに限ることではないか。風当りの強い植樹のなし悪い同島の如きは特に注意を要するのである。「アカマツ」の如き「ポプラ」の如きは此目的に適して居ない。少しく苗木を造るのか困難であつても「トドマツ」の如きは最良好な造林樹種である。此機会に於て利尻島に充分な植樹が行はれ又、森林思想が高めらるる様になれば最幸なことである。

#### ○殖民公報第八十八号(大正五年)

#### ●本道に於ける優良産業組合 明治三十五年(関係分抜粋)

#### ▼有限責任仙法志信用販売購買組合

一、従来漁村の例として仕込と称する取引を為し親方即ち資本主より米増及日用品の前借をなし漁獲物は之を親方に提供しあるを以て借主の漁業者は常に不利益の地位にありしか、組合設立以来は其不利益なきに至れり。

二、漁村の常態として金利頗る高率なりしか、組合設立の爲め一般の金利低下したり。

三、漁村の弊習として飲酒、賭博

流行したりしか、組合設立以来其弊風を一掃し貯蓄心を惹起せしめたり。

本組合は現組合長池田斌太郎か村長時代に於て奨励創設し爾來熱心運用発達に尽力し遂に今日の盛況を致し更に利尻島内に該組合五箇所の増設を見るに至れるのみならず。大正四年四月産業組合中央会より優良組合として表彰せらる、尚本組合は善行表彰、慶弔救済等の規定を設け毎年一回新年に於て之を挙行し、且巡回講話を実行しつつあり。

今月号は、以上のように利尻島の森林(先月号からの続き)と、仙法志信用販売購買組合の記事について紹介しました。

利尻島の風土・氣候にあつた樹種の選択から植栽の方法がすでに大正四年頃から考へられていたことがわかります。利尻島の植物相は北方寒地植物相型といわれています。つまり、利尻島の植物はカラフト、シベリアなどと同じ特徴をもっているということです。利尻島の植物調査は明治二十一年(一八八八)からすでにおこなわれていました。トドマツ・エゾマツを中心とする針葉樹林が五百メートル以上あり、それより高くなるとダケカンバ、ミヤマハンノキなどの亜高山性落葉広葉樹林にかかわることなどが明らかにされています。

一方、産業組合とは明治三十三年(一九〇〇)に制定された産業組合法に基づいて設立された団体で、組合員が七人あれば設立できました。これには、無限責任有限責任、保証責任の三種があり、大正七年(一九一八)に開道五十周年記念博覧会の際、産業組合大会も催れ、全道各地に産業組合が設立されましたが、第二次世界大戦後は協同組合にうつりかわっていきます。

殖民公報にみる利尻島関係の記事は以上で終ります。

利尻町立博物館 学芸員



# シートベルトの着用を決議

町議会

このたび町議会は、第九回定例本会議において、シートベルト着用に関する決議を次のとおり採択いたしました。

この目的は、ドライバーの安全運転意識の結果を図り、激増する悲惨な交通事故の撲滅を期することとしております。

町議会では、その社会的使命を果たすため、家庭から職場、そして地域からの運動として盛り上げ所期の目的達成に努めたいと考えており、町民の皆さんのご協力をお願い致します。

## シートベルト着用 推進に関する決議

「悲惨な交通事故をなくし、明るく、豊かな住みよいくらしを守ることは、全町民共通の願いである。このような見地から交通安全に関する施策として、数多くの運動を展開しているところである。しかしながら、近年におけるモータリゼーションの発達に伴い、交通事故は関係者の懸命な努力にもかかわらず、再び増加の傾向にあり極めて憂慮すべき状況にある。

とりわけ、道内における交通事故死者数は全国一という不名誉な記録を更新している。交通事故の災禍から尊い町民の生命を守ることこそ、当面する重要かつ緊急課題である。こうした実情に鑑み、シートベルトの着用は、その効用が未だ十分に認識されていないのが現状であるが、町民の安全運転の意識を高めるとともに、事故時における乗員保護に極めて有効かつ適切な方策と考える。よって本議会は、全町民とともにシートベルト着用定着運動を強力に推進することを決議する」

昭和五十九年十二月十七日

利尻町議会



# 第15回 利尻町婦人大会開催される

利尻町婦人団体連絡協議会主催による、利尻町婦人大会が十二月十一日、町民センターで盛大に開かれました。

この日は、「生活に根ざした婦人団体のあり方」をテーマに日刊宗谷利尻支局長の河野三郎氏等を講師に招き熱心に討論を交しました。



## 必要なとき、労信協を利用しましょう

労信協とは：

正しい名称は、財団法人北海道勤労者信用基金協会です。

協会では、勤労者が各金融機関から生活及び住宅に要する資金を借りるとき、勤労者の保証をして、お金を借りやすくするための業務を行っています。

### ご利用できる資格

道内に住所及び勤務先があつて当協会の保証による借入金償還期間内に返済する能力のある方。

### 資金の種類

①住宅資金、住宅取得、改良、住宅用地取得などのための資金で、最高2千万円までとし、返済期間

は、20年以内です。

②生活資金、医療、冠婚葬祭、教育その他生活に必要な資金で、最高2百万円までとし、返済期間は5年以内です。

### 申し込み方法

借入れを希望する取扱金融機関に「労信協」制度を利用したい。といつてお申し込みください。

用紙は取扱金融機関の窓口にあります。

### 取扱金融機関

労働金庫、北海道拓殖銀行、北海道銀行、北洋相互銀行、北海道相互銀行、信用金庫、信用組合。

### 詳しくは、

町農林商工課もしくは、労信協（札幌市中央区北3条西7丁目道庁西ビル2F） ☎011-271-9191 にお尋ねください。

## 春からあなたも。よし、決めた。

いつでも、どこでも、誰でも学べる。道内でただひとつの道立通信制高等学校。全道とともに学ぶ仲間が六、〇〇〇人、その年齢層は七十歳代にまで及んでいます。

### 北海道有朋高等学校生徒募集

#### 〈募集人員・学習方法〉

1、通信制課程普通科 660名  
本校からの通信教育を受けるほか毎月2、3回（日曜日）本校別表の協力高等学校へ通学します。

#### 〈募集資格〉

1、中学校卒業または昭和60年3月卒業見込みの者。  
2、中学校卒業と同等以上の学力がある場。（資格認定試験を実施）

#### 〈募集期間〉

昭和60年1月25日（金）～3月30日（土）  
ただし、資格認定試験受験者は3月19日（火）まで、編入学出願者は3月23日（土）まで。

#### 〈入学選考〉

学力検査は行わず、提出された書類により選考。ただし、編入学出願者は面接を行います。

#### 〈願書の請求〉

入学願書は、本校または協力校にあります。郵送希望の方は、切手170円を同封して、申し込んでください。

#### 〈あて先・問い合わせ先〉

〒064 札幌市中央区南14条西12丁目  
北海道有朋高等学校  
☎011-5663-1105

# 除雪作業に協力を!

いよいよ本格的な雪とのたたかいがおとづれました。前月号(一月号)にも掲載いたしました、町、土現では万全の体制で除雪作業を実施しておりますが、住民のみなさんの御協力なしでは、スムーズな除雪作業もできません。

除雪作業に一番支障をきたすのが「路上駐車」です。皆さんのご協力をお願いします。愛車は車庫へ

◎夜間の路上駐車は、その地域の路上の全部が除雪できなくなりみんなの迷惑です。絶対やめましょう。

◎火災、救急等の災害時には消防

車、救急車も入れないという大変な事態が発生します。

◎駐車可能な路線であっても、夕方から早朝の除雪時間帯には、愛車は車庫に納めるようお願いいたします。

◎交通事故の原因にもなります。路上障害物の整理を

◎歩道や道路わきに除雪の障害となるもの(木片、ドラムかんなど)を置かれますと、除雪車はねとばして、建物や人に危害を与えるばかりでなく、ロータリー車の羽根をいためますので置かないようご協力をお願いいたします。

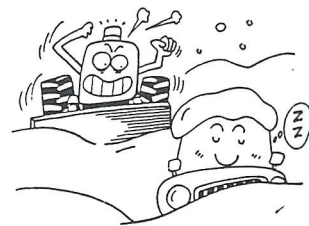
(除雪車には子供を近づかせないで下さい)

◎除雪で出入口をふさぐこともありませんが、この雪を再び車道に投げないようにして下さい。

◎道路わきで子供のスキー、ソリ遊びは絶対させないで下さい。

※除雪作業に対しての御意見等は 稚内土木現業所利尻出張所、役

## 夜間の路上駐車はやめて



除雪を妨げる路上駐車をやめよう...

場建設課又は仙法志支所へお知らせ下さい。



## 屋根からの落氷に注意!!

毎年冬になると、屋根から雪や氷が落ちて、歩行者が死亡やけがをする事故が起きています。

これらの事故は、一日の気温がしだいに高くなる午前十一時ころから午後二時ころまでの間が、最も多く発生しています。落水雪によ

る事故を防止するために、次のことに注意しましょう。

▼屋根の雪が道路に落ちるような建物には、落雪などによる事故が起きないように、丈夫な滑り止めなどを取り付けるようにしましょう。



▼滑り止めを付けてあっても強さが不足していたり、針金などが古くなってさびていすると、壊れて落ちることもありますので、雪が多くなる前に必ず点検し、悪いところがあれば早く修繕するようにしましょう。

▼屋根の雪、氷、つららなどは気温の上昇や降雨のときに、特に落ちやすくなっていますので、早めに取り除くようにしてください。なお、雪下ろしなどをす

るときは、歩行者や子どもに危険のないよう十分注意してください。

▼屋根から雪が落ちたときは、事故がないかどうかすぐ点検するとともに、歩行者の通行の妨げにならないよう、早く処理しましょう。また、これらの雪や氷は道路に出しますと、歩行者や車両の通行に迷惑しますのでお互いに出さないようにしましょう。

日本農林規格


JASマークは

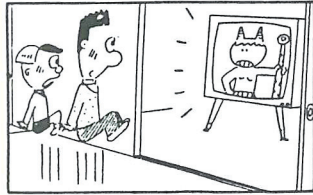
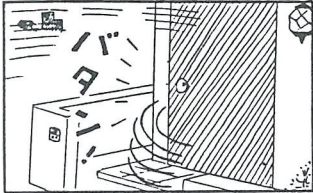
「お買い物の物差し」



加工食品の品質を保障するJASマーク。7月から「麺つゆ」もJASの仲間入りをしました。このマークのついた食品は安心してお買い求めになれます。

# さわやか君

西村 宗 



瀬戸 氏 名 住 所  
瀬戸 名 保護者続柄 住所  
渋谷 ハツエ 富野 %

いつまでも  
お幸せに

保野 氏 名 保護者続柄 住所  
保野 由美 耕一 長女 緑町 %



お誕生おめでとう  
ういぎさ



## 戸籍の ういぎさ

自12月1日  
至12月31日

八講博之 富野 %  
篠原 美香 富野 %

おくやみ  
申し上げます

ご厚情に  
感謝します

このたび次の方から愛情銀行に  
金一封が預託されましたので、紙  
上を借りてお礼申し上げます。  
利尻町 利尻やませの会様から

氏 名 年齢 住所  
小幡 幸蔵 七七歳 日出町 %  
太田 ノブ 七四歳 種富町 %  
益田 たき 九一歳 久 連 %  
工藤 淳亮 七三歳 政 泊 %



歳末たすけあい募金  
ご協力ありがとうございました  
ごさいました  
沓形小学校児童会様  
仙法志日曜学校児童会様  
利尻建設協議会様  
ロータリークラブ様  
利尻町民生児童委員会様  
近藤寿人様  
各自治会様

寄付金として  
仙法志字久連 益田久子様から  
母たき様の香典返しを廃して  
沓形字富士見町 荒木健三様から  
寄付金として  
(利尻町社会福祉協議会)

2月22日(金)

# 自動車運転免許 更新時講習会

- 午後6:30
- 利尻町保健福祉館
- 更新時講習は1年間有効ですので、免許をお持ちの方は受講されるようお願いいたします。

- ◎沓形仙法志交通安全協会
- ◎沓形警察官駐在所

おはよう  
こんにちは  
ご苦労さま  
すみません

# 街に笑顔 あいさつを

気軽に交すあいさつは人と人の潤滑油

~広げよう あいさつ運動~